



# 2017年3月期 本決算説明会

東京エレクトロン デバイス株式会社

2017年4月27日



# 決算報告

取締役 佐伯 幸雄

**売上高**

**前期比11.9%増 予想比5.3%増**  
主にEC事業の商権拡大が寄与

**経常利益**

**前期比15.4%減 予想比5.9%増**  
EC事業の製品構成の変化による

# 業績概要 前期比

	2016年3月期	2017年3月期	増減額	2017年3月期 予想
売上高	117,831	131,855	14,024	125,200
売上原価	102,852	116,709	13,857	
売上総利益	14,979	15,146	167	
販管費	13,488	13,481	▲7	
営業利益	1,490	1,665	174	
営業外収益	282	106	▲176	
営業外費用	144	393	248	
経常利益	1,628	1,377	▲250	1,300
当期純利益	925	972	46	900
従業員数	942名	942名	0名	

※ 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

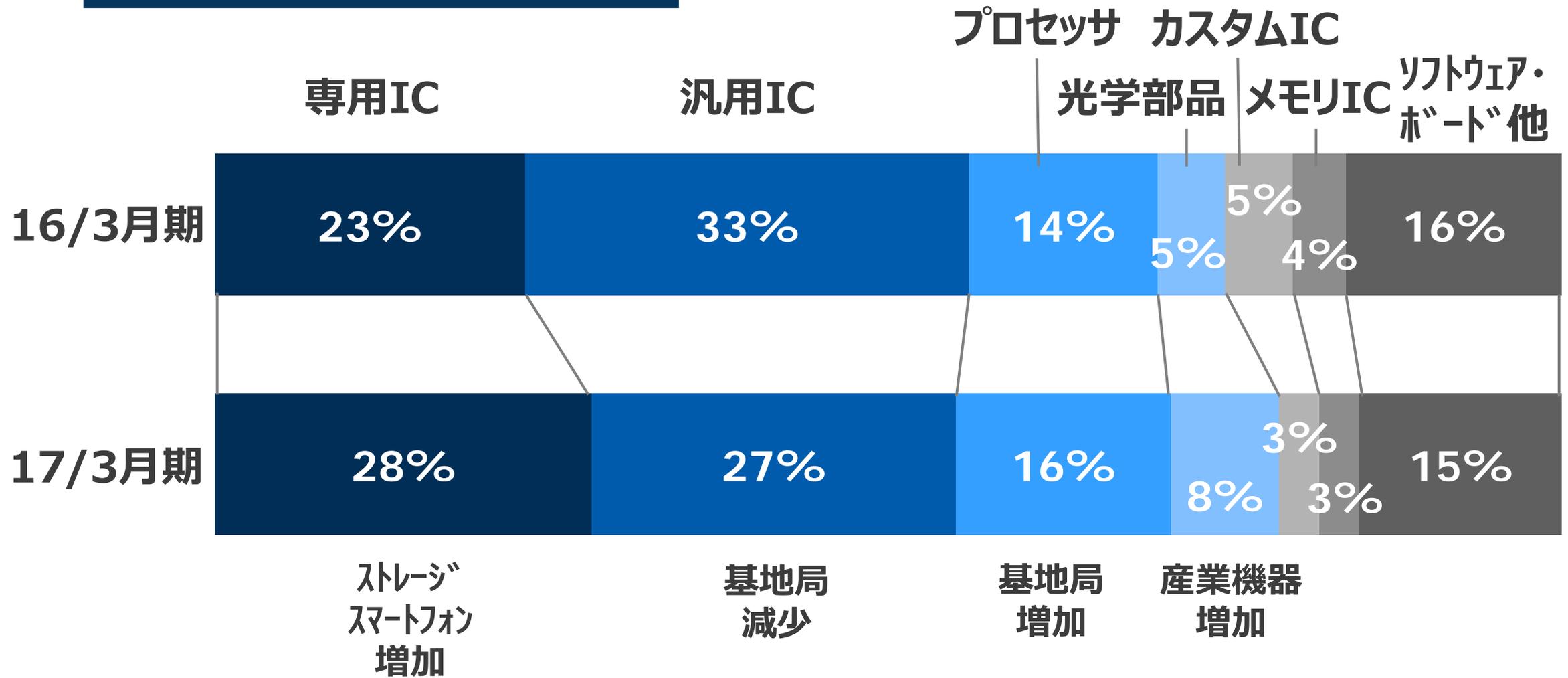
# セグメント別 売上高・利益

	2016年3月期		2017年3月期			
	売上高	セグメント利益	売上高	増減額	セグメント利益	増減額
半導体及び電子デバイス (EC)事業	99,930	782	115,018	15,088	591	▲190
コンピュータシステム関連 (CN)事業	17,900	846	16,836	▲1,064	786	▲59
合計	117,831	1,628	131,855	14,024	1,377	▲250

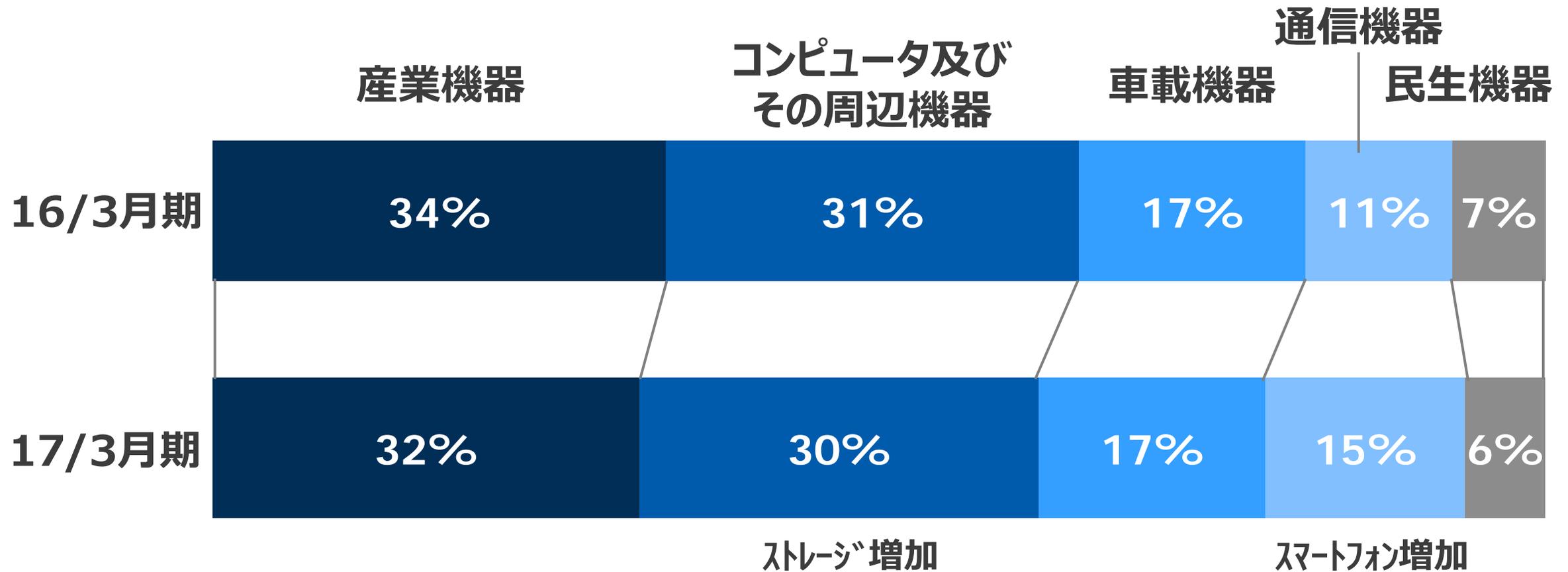
**EC事業** 商権拡大により増収  
製品構成の変化により減益

**CN事業** 機器販売が低調 減収減益

## 品目別売上高構成比



## 用途別売上高構成比



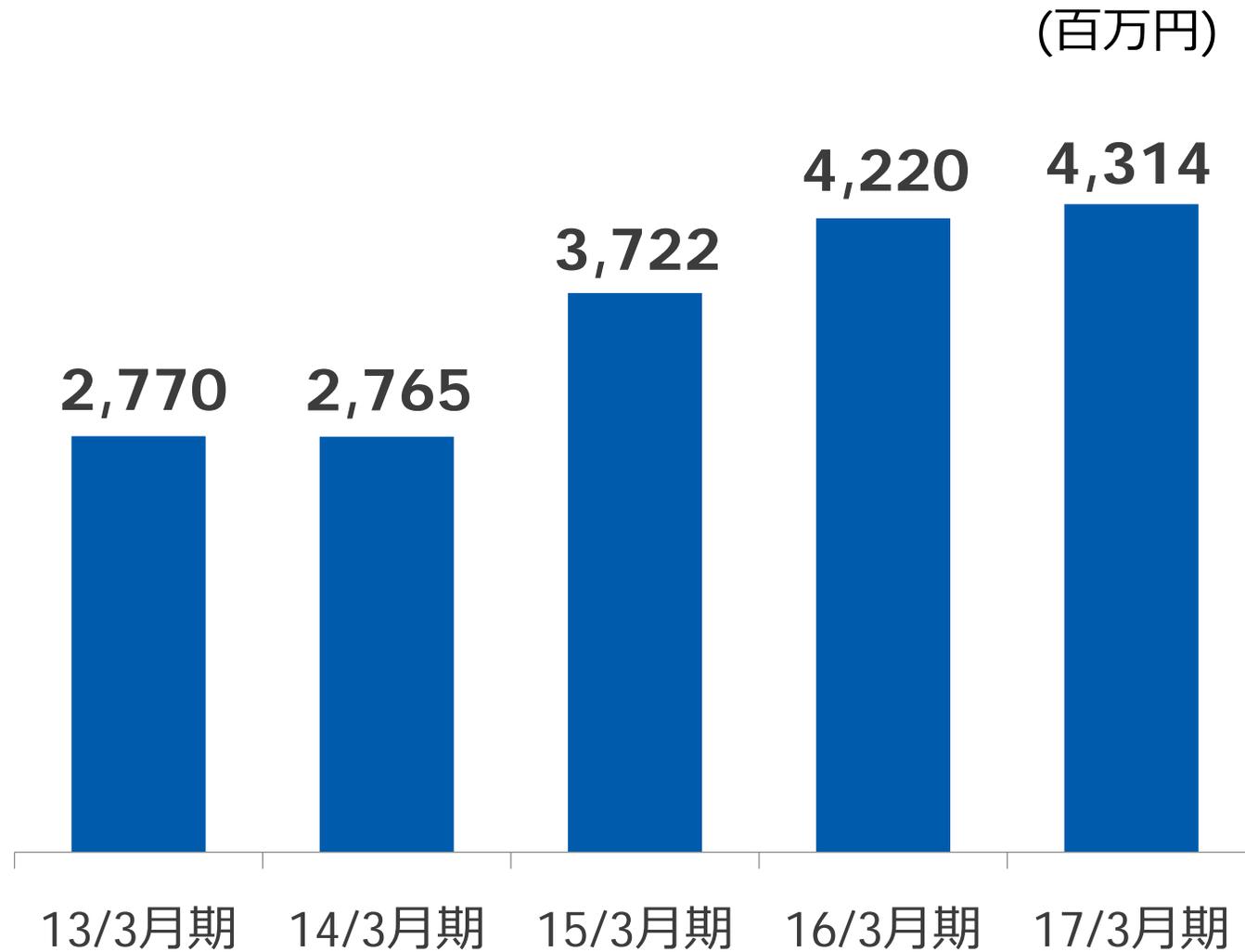
民生機器以外は 全分野で前期比売上高増加

# 海外連結子会社 売上高 EC事業

	2016年3月期	2017年3月期	増減額	増減率
海外連結子会社 売上高(百万円)	35,280	38,434	3,153	8.9%
海外連結子会社 売上高比率	35.3%	33.4%		
海外連結子会社 売上高(M\$)	293	354	61	20.8%
為替レート(円)	120.15	108.34		

円ベース ドルベースともに増収

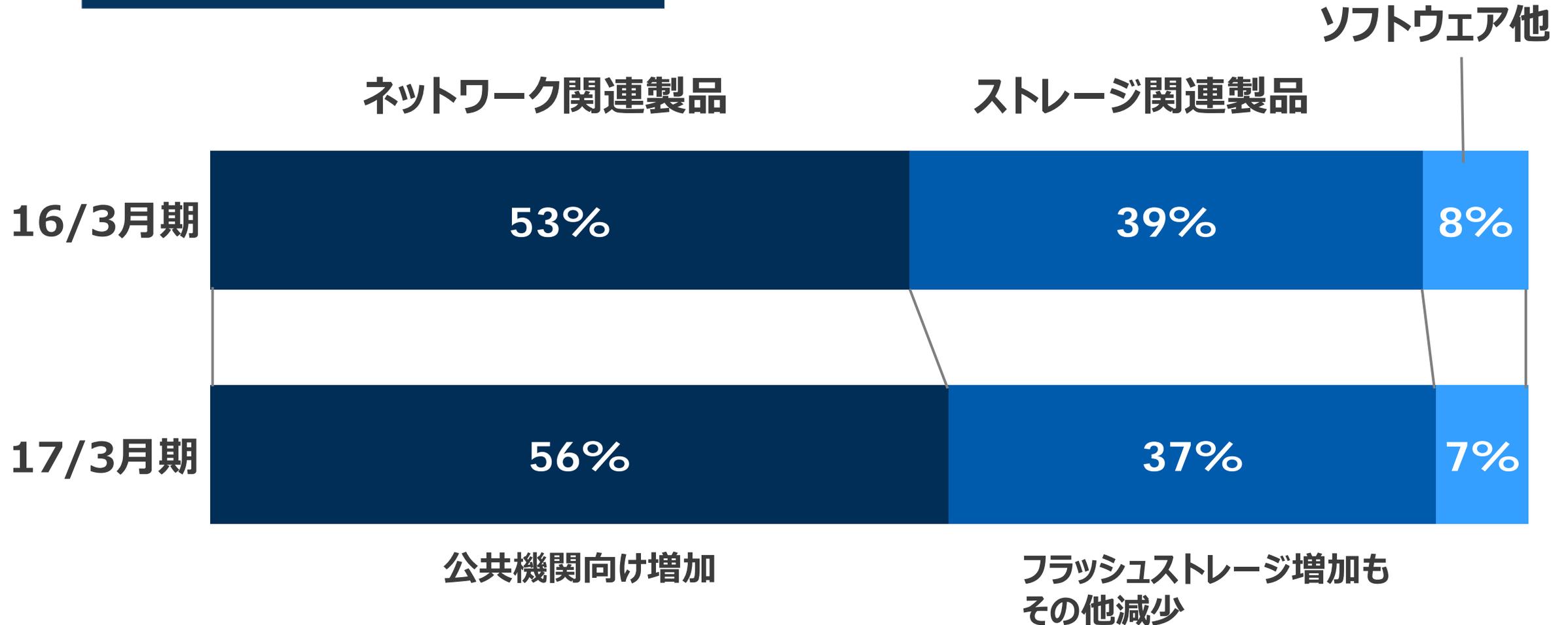
# インレビウム 売上高 EC事業



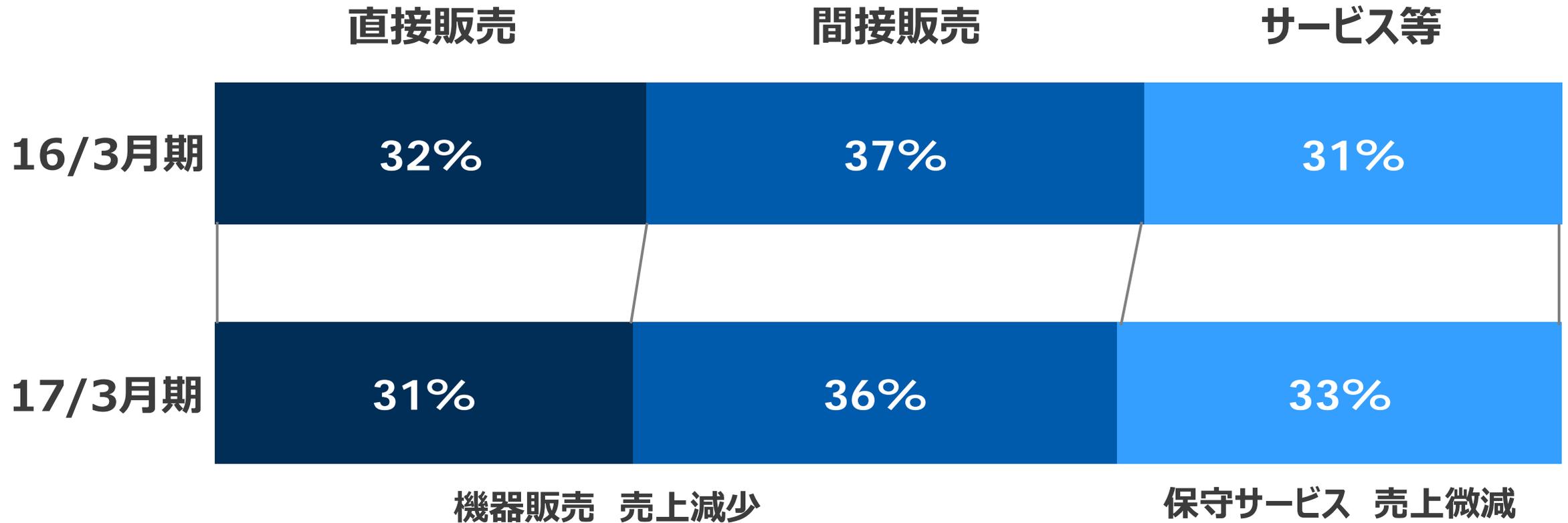
売上高 微増 ➡

設計・量産受託サービス伸長

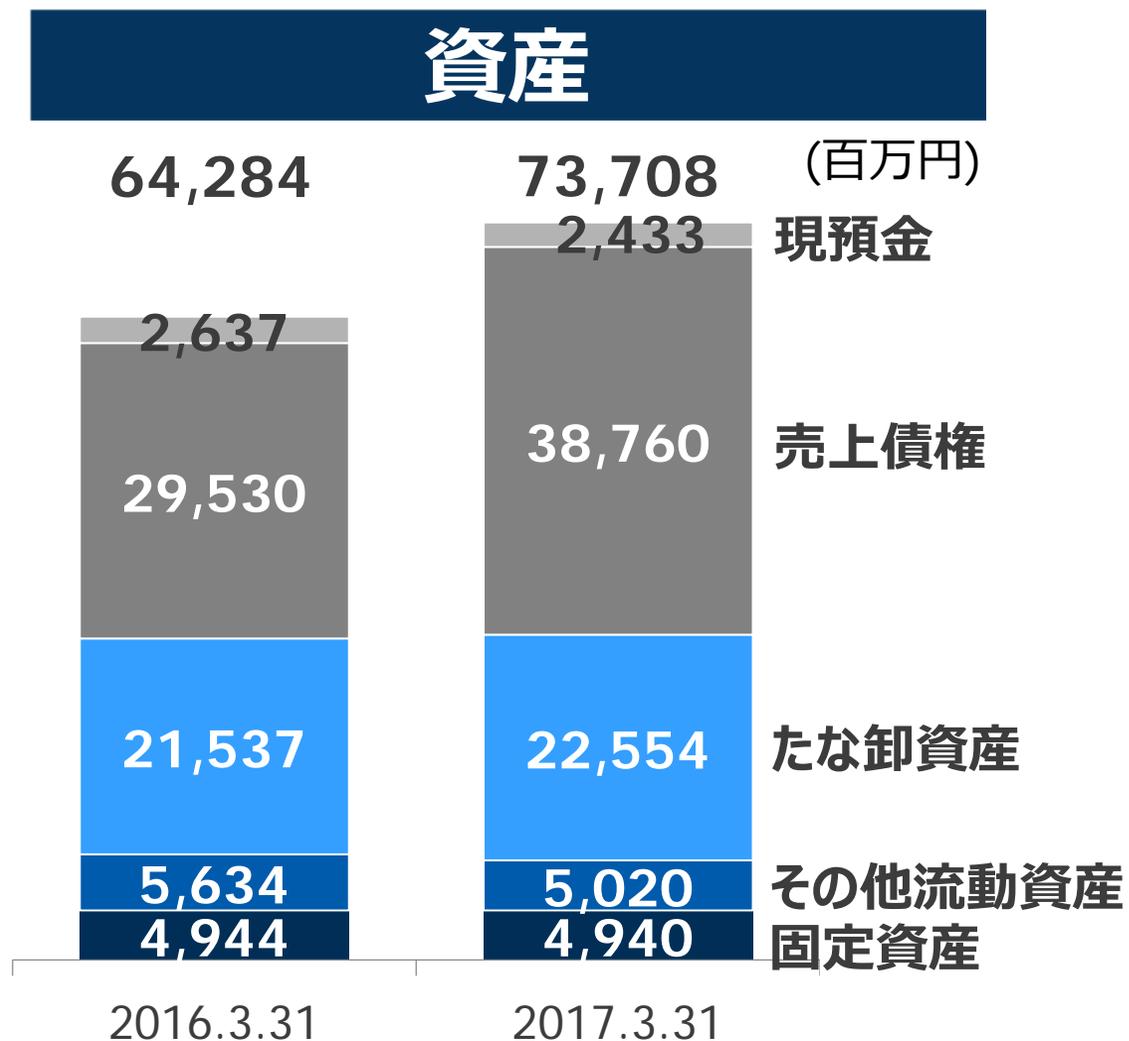
## 品目別売上高構成比



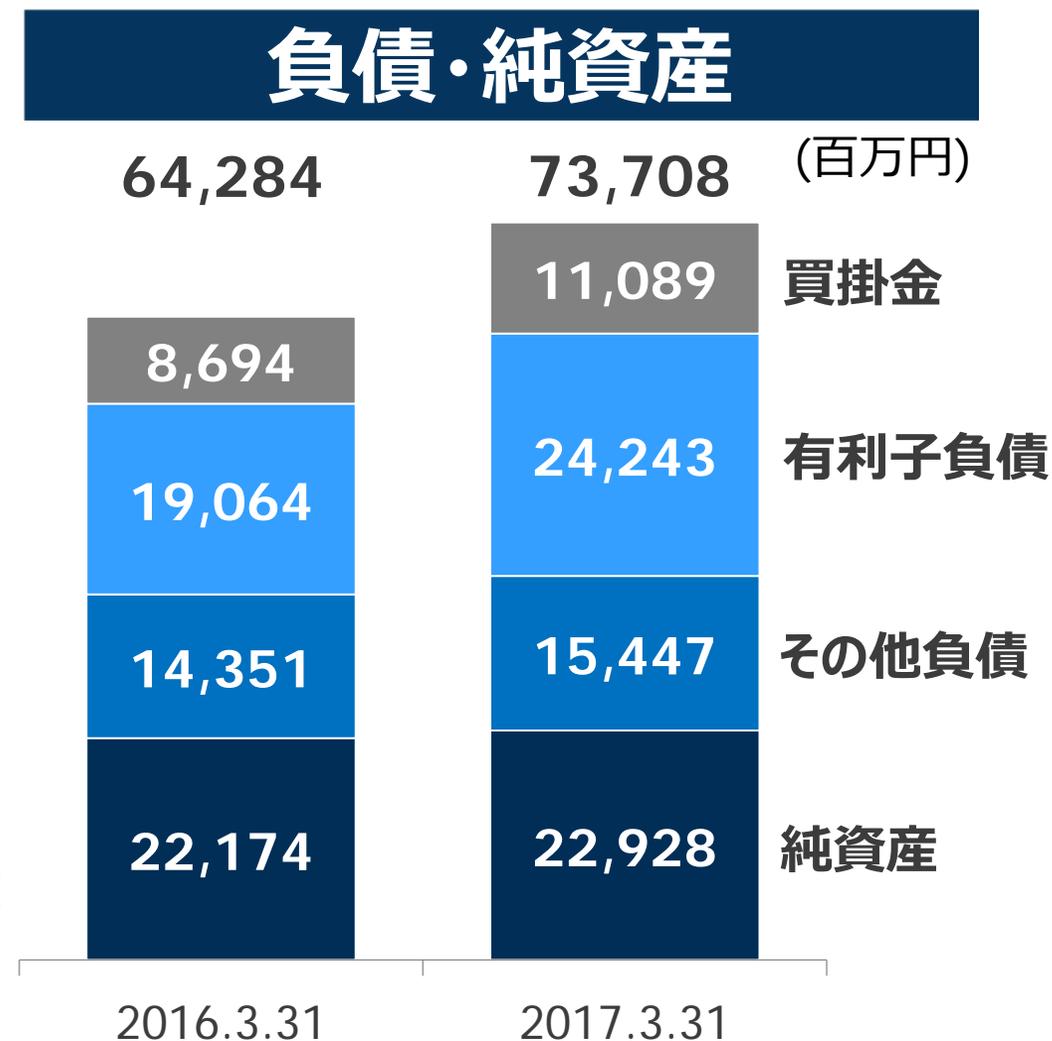
## 販売形態別売上高構成比



# 貸借対照表



売上増加により 売上債権増加  
在庫回転期間改善 (2.4ヵ月→2.0ヵ月)



受注増加により 買掛金増加  
運転資金を有利子負債で調達



# 事業方針 及び 業績見込み

代表取締役社長 徳重 敦之

# 事業方針

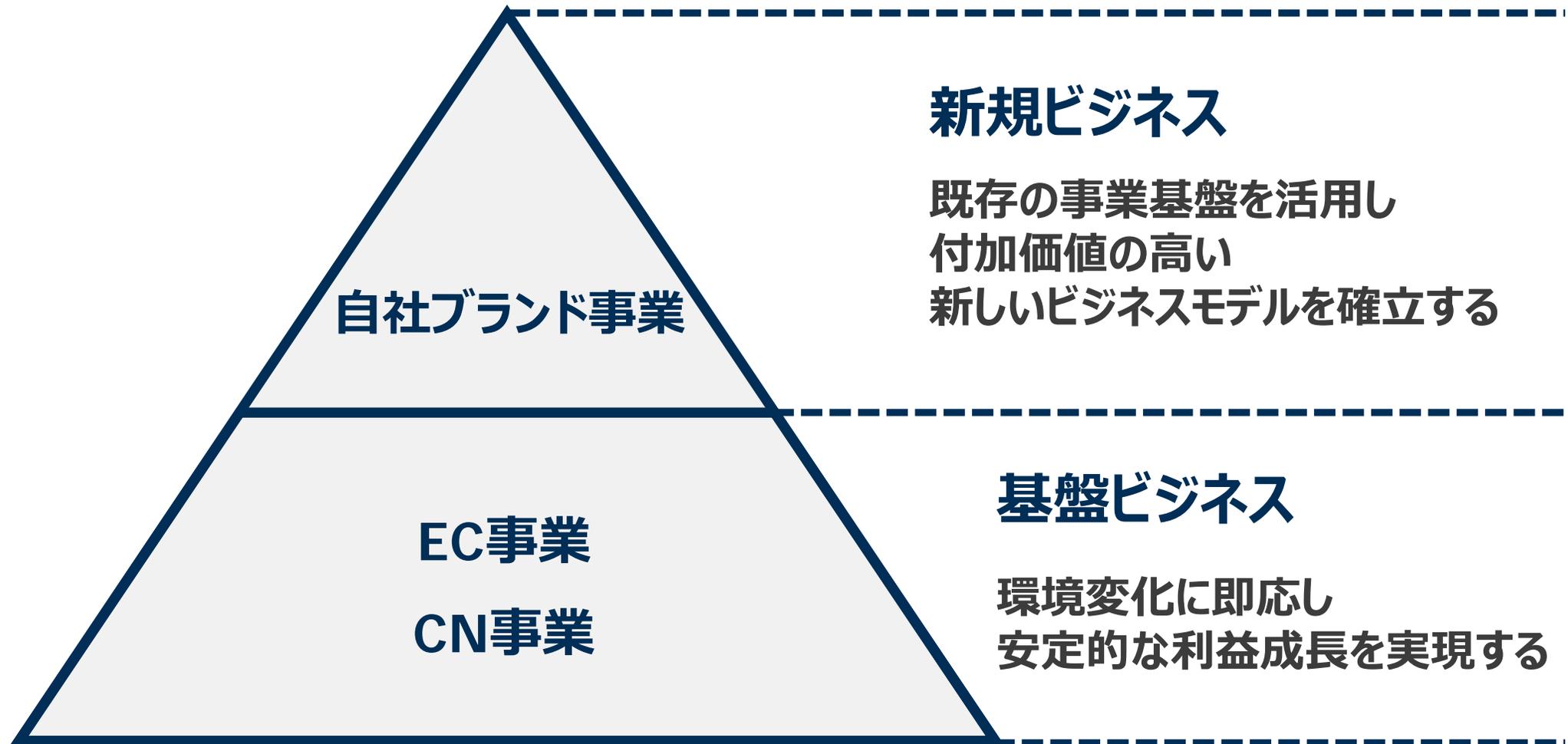
---

**売上高** 2,000~2,200億円

**ROE** 10%

**達成目標年度** 2021年3月期

---



# — 基盤ビジネス —

## 1. 安定的かつ継続的な事業成長

- 成長する産業・車載市場への注力
- アナログ・プログラマブル製品への注力
- 業務オペレーションの一元化

## 2. 利益率 及び キャッシュ・フローの改善

- 部品レベルからモジュール・ボードレベルへ
- アジア地域における環境・省エネ商材販売の強化
- 在庫圧縮

## 商権拡大

---



(Freescale Semiconductor社と統合)



(Avago Technologies社と統合)



(Linear Technology社と統合)

## 新規商品

---



- エクセリタス・テクノロジーズ社  
(米国 マサチューセッツ州)
- 赤外線センサー製品
- 家電製品、医療分野、産業機器向け
- 2017年3月より取り扱い開始

## 環境・省エネ商材



空調機のコンプレッサー制御装置  
inrevium SEA



エアコン室外機向け散水システム



高速ろ過装置 JET.CAViTY



遮熱塗料（外壁、屋根向け）



## TED APACを拠点として販売推進

## 1. 製品構成の再構築

- － データセンター市場への注力
- － セキュリティ関連製品の導入

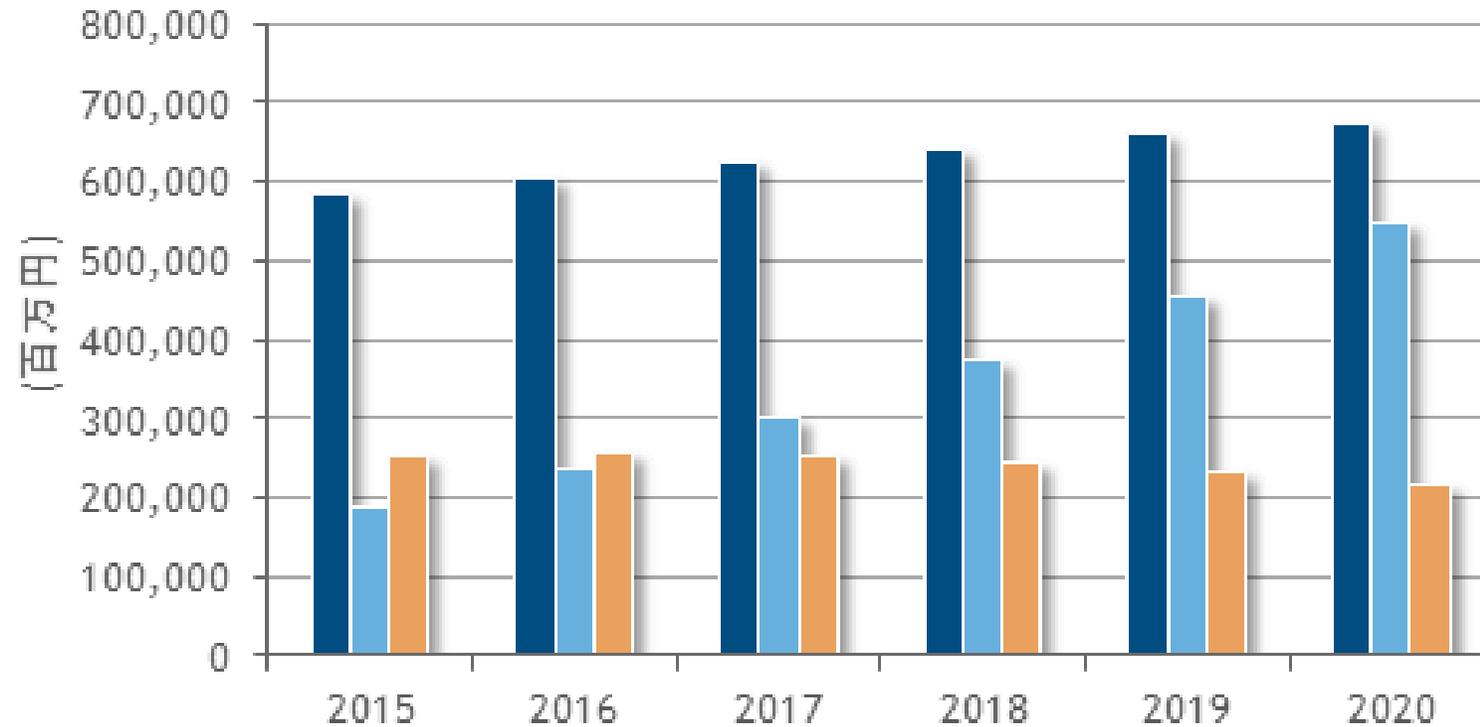
## 2. 顧客層の拡大

- － クラウド事業者、データセンター事業者への直接販売強化

## 3. 利益率改善

- － 有償技術サービスの拡充
- － 保守サポートの効率オペレーション

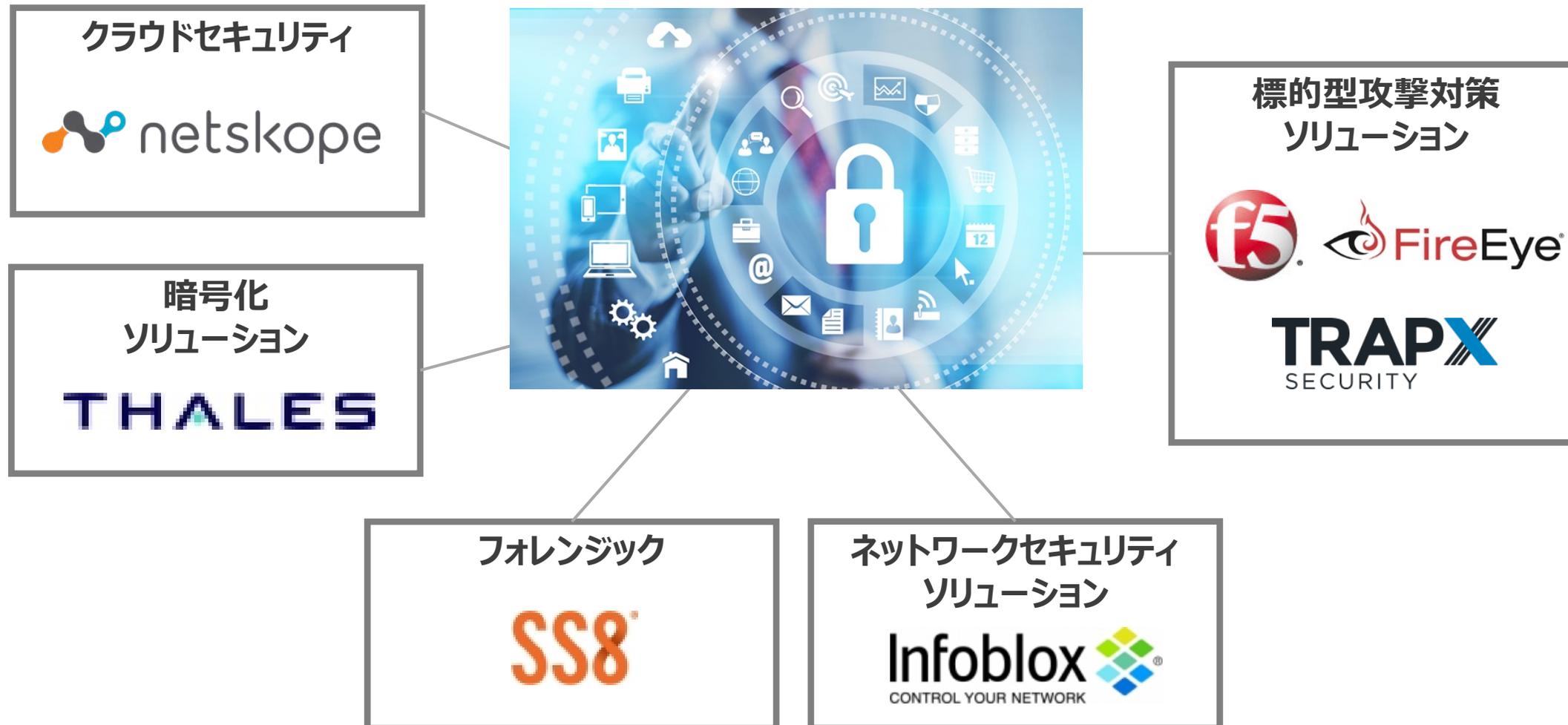
## 国内データセンターサービス市場予測



- コロケーション
- クラウドデリバリー・ホスティング
- 従来型ホスティング

※出典：IDC Japanプレスリリース「国内データセンターサービス市場予測を発表」（2016年12月7日）

## セキュリティ製品の拡充



## 有償技術サービス



企画から運用まで高い技術サービスを拡充

# — 新規ビジネス —

## 1. 製品開発

- － 省人・省エネ製品への注力

## 2. 設計・量産受託サービス

- － 先端技術、少量多品種への対応

## 3. IoT構築サービス

- － 多様なIoT構築に対する要求に短期間で対応

## 超音波霧化分離装置



- ナノミストテクノロジーズ株式会社と協業  
(徳島県鳴門市)
- 2017年4月に出資  
性能向上に向けた共同開発を予定
- 独自技術による混合液の分離装置
- 非加熱での運用のため省エネが可能
- 化学業界、食品業界向けに販売

## 放送・医療機器向けビデオコーデックモジュール 『ORIGAMI MODULE B20』



- イメージマター社製の小型モジュール（ベルギー）
- 製造許諾権と日本・北米・APAC地域における独占販売権の契約を締結
- 2017年8月より量産開始予定

# IoT構築サービス『Min Lab』 開発事例

## 製造業様 【装置・ロボットの異常検知・故障予測実現のためのデータ分析】

分析

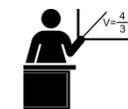
装置やロボットの振動、温度、位置、トルクなどのデータを分析し、状態判別



【データ収集】



【分析】



【モデル開発】



【異常検知】

## 製造業様 【ヘルスケア関連サービス開発】

開発

センサーデータを生体情報化しヘルスケアサービスへ活用



【センサー】



【通信】



【ビジネス価値化】



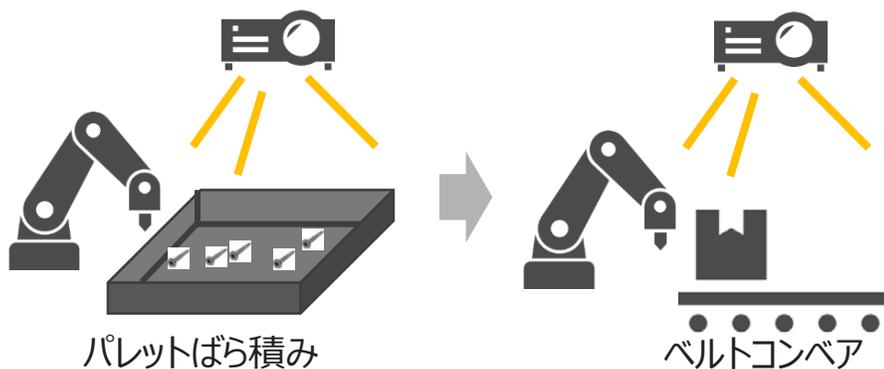
【医療・介護】

# 高速プロジェクト『DynaFlash』



- 産業分野への応用を目指す

例) 3次元計測ロボット



例) インフラ点検



# 業績見込み

## EC事業

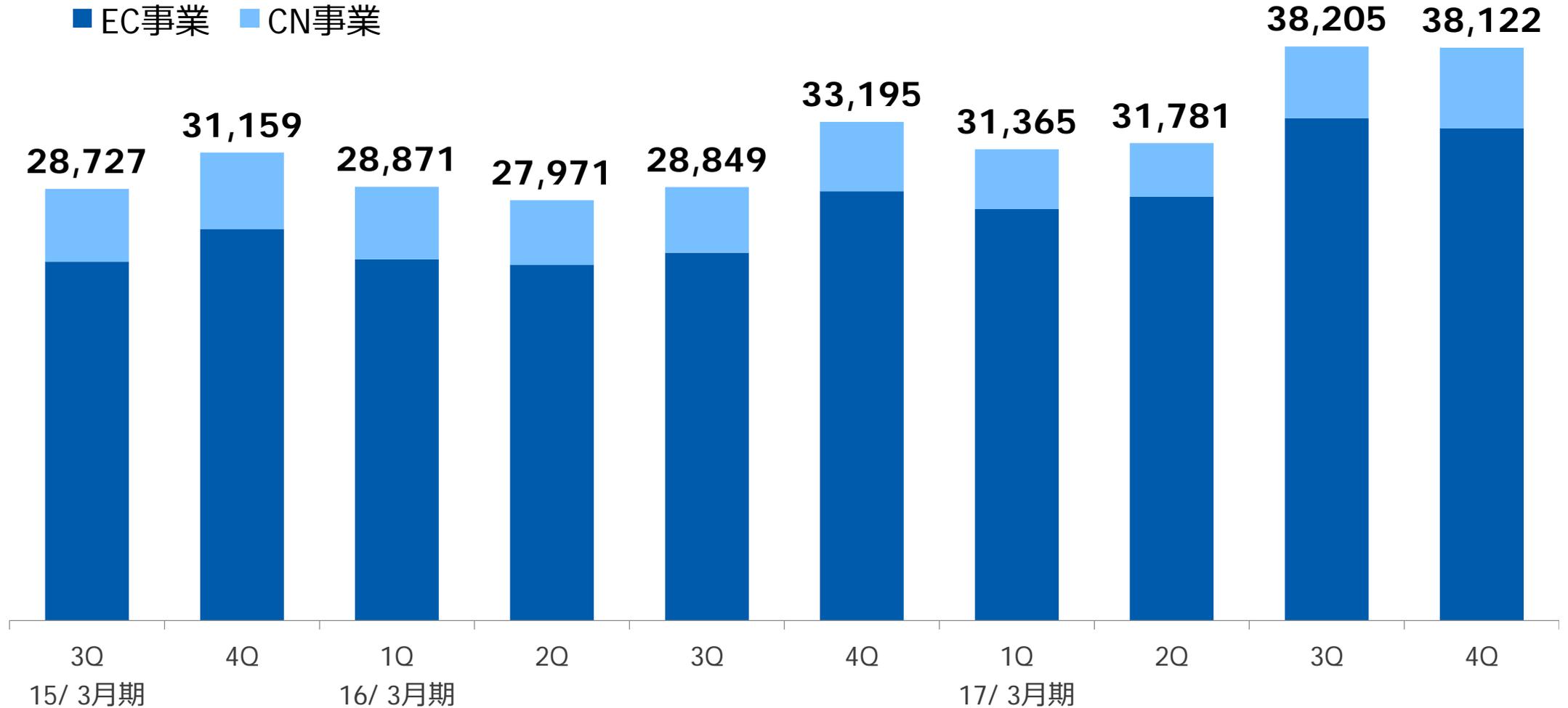
- 足元は 全般的に堅調
- 産業機器・車載機器は 好調な推移を想定
- リードタイムの悪化による 顧客の生産計画への影響を懸念
- 商権は 拡大傾向

## CN事業

- 国内IT投資は セキュリティ市場の成長に期待
- データセンター堅調

# 受注高の推移

(百万円)



# 2018年3月期 業績見込み

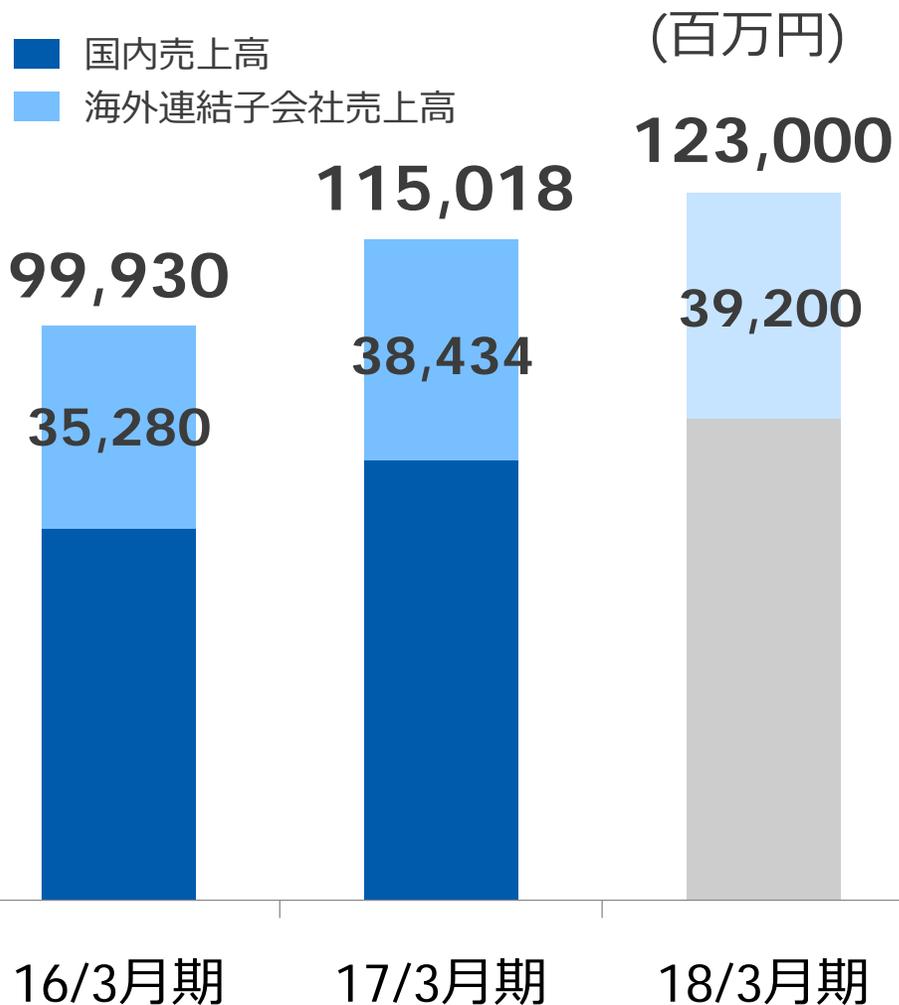
(百万円)

	2017年3月期	2018年3月期			対前年比	
	通期	上期予想	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	131,855	68,400	71,600	140,000	8,144	6.2%
EC事業	115,018	60,700	62,300	123,000	7,981	6.9%
CN事業	16,836	7,700	9,300	17,000	163	1.0%
経常利益 (利益率)	1,377 (1.0%)	360	1,140	1,500 (1.1%)	122	8.9%
当期純利益 (利益率)	972 (0.7%)	250	750	1,000 (0.7%)	27	2.9%

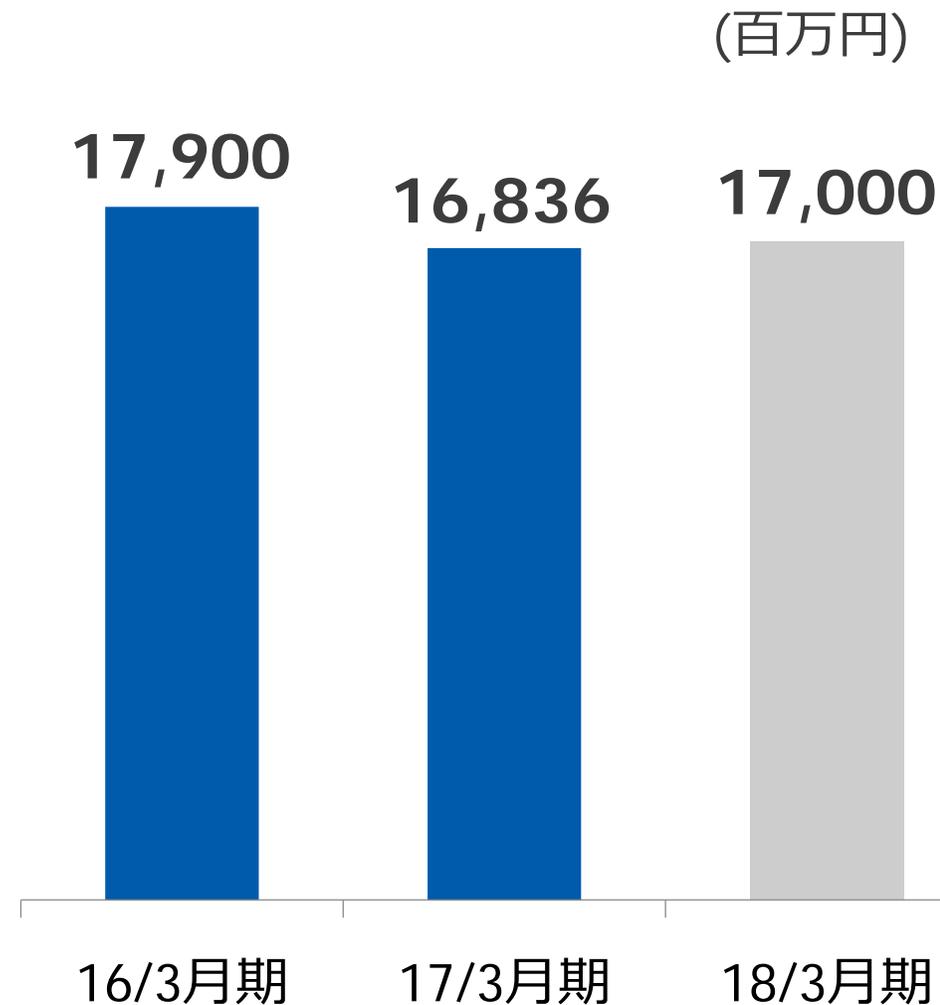
※ 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

# 2018年3月期 業績見込み 事業別

## EC事業 売上高

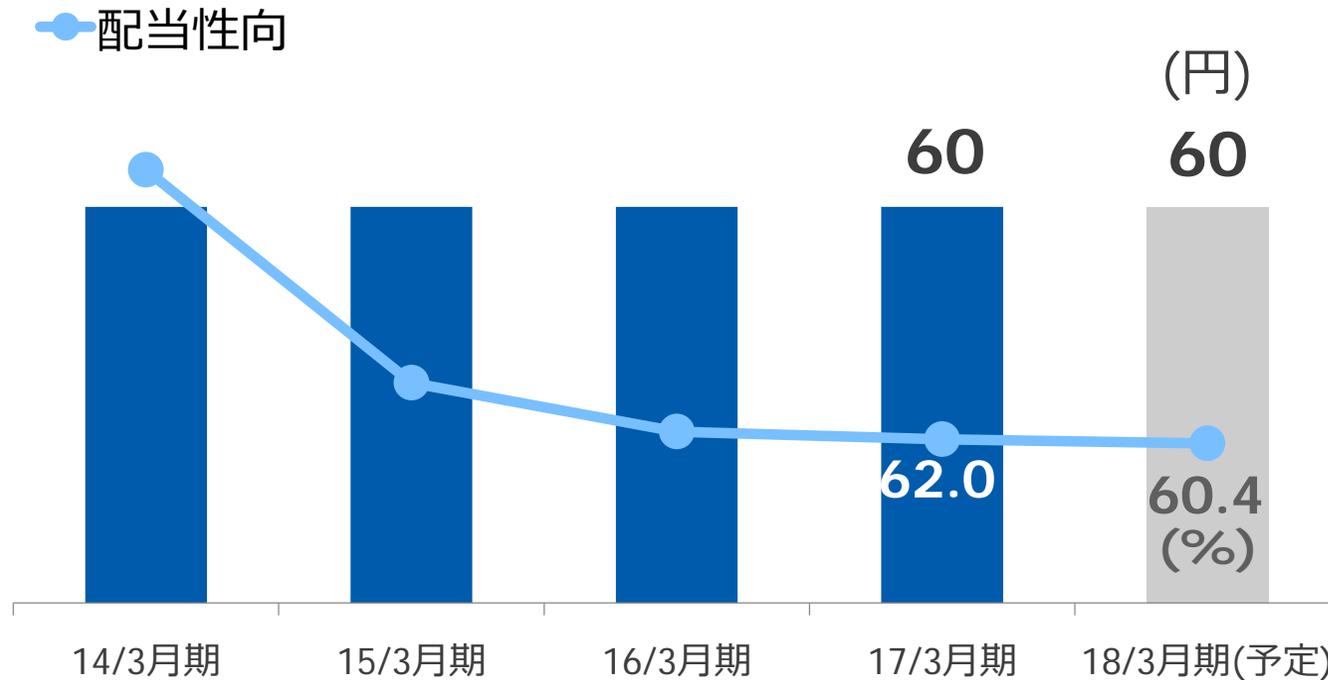


## CN事業 売上高



# 1株当たり配当金

	2017年3月期	2018年3月期
中間	30円	(予定) 30円
期末	30円	(予定) 30円



- 配当性向  
目安50%以上
- DOE  
下限2.5%

DOE(株主資本配当率) = 配当性向 × ROE



# Connect Beyond

## 本資料に関する注意事項

本資料で述べられている将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な要因により、今後の業績見通しが本資料と異なる可能性があることをあらかじめご了承ください。

また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。

本資料に掲載された会社名、製品名、サービス名ならびにロゴは、各社の商標または登録商標です。



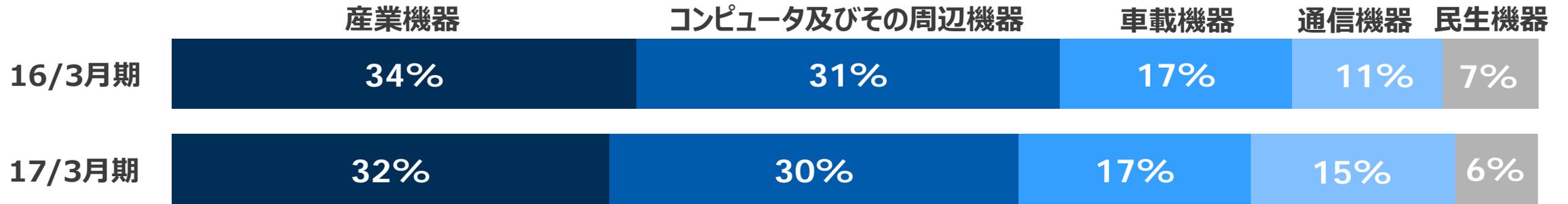
# 補足資料

# EC事業 品目別売上高構成



品目	増減率	主な要因	主な仕入れ先
専用IC	41.0%	商権拡大 ストレージ スマートフォン 大幅増加	TI / アナログ・デバイス / フロートコム / ピクセルワークス / サイプレス / インビディアム
汎用IC	▲6.6%	商権喪失 基地局向けアナログ IC減少	TI / リニアテクノロジー / NXP(フリースケール)
プロセッサ	32.0%	商権拡大 基地局 産業機器 増加	NXP(フリースケール) / インテル / TI / サイプレス(スパンション含む)
光学部品	87.9%	商権拡大 産業機器 通信機器 大幅増加	フロートコム(アバゴ・テクノロジー)
カスタムIC	▲31.0%	ザリンクス社販売代理店契約解消	ソシオネクスト / ラティス / インビディアム
メモリIC	▲1.0%	商権拡大 産業機器向け増加	サイプレス(スパンション含む)
ソフトウェア・ボード他	5.4%	POS増加	マイクロソフト / インテル / コーセル / インビディアム

# EC事業 用途別売上高構成



品目	増減率	主なアプリケーション	当社の傾向
産業機器	10.0%	医療機器 放送機器 監視カメラ FA機器 計測器 工業用ロボット 工作機械 半導体製造装置 インバータ	ザイリンクス社カスタムICの減少あるが、一方商権拡大あり、全般的に堅調
コンピュータ及びその周辺機器	10.6%	複合プリンター プロジェクター OA機器 ストレージ PC及び付属機器 POS	ストレージ向け専用IC 増加 POS向けソフトウェア堅調
車載機器	16.7%	カーナビゲーション カーオーディオ ホンダ系	マーケット好調 プロセッサ 専用IC増加
通信機器	53.8%	携帯電話 スマートフォン ルーター 伝送装置 基地局	スマートフォン向け専用IC大幅増加 基地局向けプロセッサ大幅増加 基地局向けアナログ IC減少
民生機器	▲4.3%	デジタルカメラ デジタルビデオカメラ TV DVD AV機器 家庭用ゲーム リモコン	マーケット軟調

# CN事業 品目別売上高構成



品目	増減率	主な要因	主な仕入れ先
ネットワーク 関連製品	▲1.1%	公共機関向け直接販売増加も その他の製品販売低調 保守サービスは微減	エクストリームネットワークス社 F5ネットワークス社 インフォボックス社
ストレージ 関連製品	▲9.7%	データセンター向けフラッシュストレージの販売好調も その他の製品販売軟調	ブロードコム社 EMC社 (アイシロン データドメイン) ピュアストレージ社
ソフトウェア他	▲20.3%	データベースソフトウェア減少	ダイアログック社 Pivotal社 オラクル社

	品目	主な製品	機能
EC事業	専用IC	画像処理用IC 通信用・ネットワーク用IC	特定用途向けに作られた専用IC
	汎用IC	アナログIC ロジックIC	色々な用途に共通に使用されるIC
	プロセッサ	CPU DSP	電子機器の頭脳 演算機能・制御機能
	光学部品	発光ダイオード フォトカプラ	電気を光に変換して使用する電子部品
	カスタムIC	ASIC PLD	お客様の仕様に応じて作られる固有IC
	メモリIC	SRAM FRAM MRAM フラッシュメモリ	記憶用IC 書込み読出しが可能なものや 読出しのみのものがある
	ソフトウェア・ボード <sup>他</sup>	ソフトウェア ボード 電源 コネクタ	企業向け産業機器に組み込まれるソフトウェア プリント配線基板上にIC 電源 コネクタなどの部品を 実装した製品（ボード）
CN事業	ネットワーク関連製品	ネットワーク負荷分散装置、 セキュリティ関連機器	インターネットの接続負荷の分散、 ネットワーク上のセキュリティを強化
	ストレージ関連製品	SANスイッチ フラッシュストレージ	大容量データに高速に接続、記憶する
	ソフトウェア他	データウェアハウス用データベースソフトウェア 組み込みデータベース	データベース管理、クラウド環境の管理